

東洋大学IR室設立10周年記念シンポジウム



主催：東洋大学IR室

○開催趣旨

東洋大学IR室は2013年に設置され、その翌年「大学の教育改革とIRの役割」をテーマに設立記念国際シンポジウムを開催しました。それから10年間、日本の大学教育は様々な改革を行い、IR組織も急速に拡大しています。新たな局面に向けて、「IRを活かす・活かせるIR」を目指して、今回のシンポジウムは「今、再び大学の教育改革とIRの役割を考える」機会として開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちいたします。

○プログラム

- | | | | |
|--------------------------|---|------|---|
| 13:00~13:05 | ● | 開会挨拶 | 矢口 悦子
東洋大学 学長・IR室長・文学部教授 |
| 13:05~13:55
(質疑応答を含む) | ● | 講演1 | 高等教育政策の現状と今後の方向性について
池田 貴城
文部科学省 高等教育局長 |
| 13:55~14:35 | ● | 講演2 | 教学IRの成果と経営IRの試み—関西大学の事例を踏まえて—
芝井 敬司
関西大学理事長・名誉教授 |
| 14:35~14:40 | | | 休憩 |
| 14:40~15:10 | ● | 講演3 | 東洋大学IRの10年—学生調査を中心に
劉 文君
東洋大学 IR室教授 |
| 15:10~15:50 | ● | 講演4 | IRに何ができたか、何ができなかったか
金子 元久
筑波大学特命教授・元高等教育学会会長 |
| 15:50~16:00 | | | 休憩 |
| 16:00~16:30 | ● | 総括討議 | 芝井 敬司 金子 元久 矢口 悦子 劉 文君 |

2023年11月11日(土)13:00~16:30

ハイブリッド [対面(事前申込・先着順)・オンライン] にて開催

※会場(対面)：東洋大学白山キャンパス 5104教室(5号館1階)

キャンパスへの入構方法などは申込者へ別途お知らせいたします。

参加
無料



お申込はコチラ

今、再び大学の教育改革とIRの役割を考える



矢口 悦子 東洋大学 学長・IR室長・文学部教授

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科(博士課程)単位取得退学。博士(人文科学、1998年)。専門は社会教育学、生涯学習論。2003年4月から東洋大学文学部教授。文学部長、社会貢献センター長などを歴任し、2020年4月から現職。著書：『イギリス成人教育の思想と制度—背景としてのリベラリズムと責任団体制度—』新曜社(1998年)、『地域を支える人々の学習支援—社会教育関連職員の役割と力量形成—』(共)東洋館出版社(2015年)、『英国の教育』(共)東信堂(2017年)など。



池田 貴城 文部科学省 高等教育局長

1989年4月文部省入省。その後、島根県教育委員会事務局高校教育課長、文部科学大臣秘書官事務取扱、米国国立科学財団(NSF)派遣、高等教育局大学振興課長、初等中等教育局財務課長、(独)日本スポーツ振興センター理事、教育再生実行会議担当室長、研究振興局長などを歴任。2022年9月より現職。



芝井 敬司 関西大学 理事長・名誉教授

京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。博士(文学、2003年)。京都大学文学部助手、関西大学文学部教授、文学部長、副学長、学長などを歴任し、2020年10月から現職。私立大学連盟に設置された「大学IR機能促進検討プロジェクト」の担当理事となり、2018年には報告書「これまでのIR これからのIR 課題と提言」を取りまとめた。独立行政法人大学改革支援・学位授与機構評議員。公益財団法人私立大学退職金財団評議員。公益財団法人大阪府私学総連合会評議員。



劉 文君 東洋大学 IR室教授

東京大学博士課程修了、博士(教育学、2003年)。日本学術振興会特別研究員、東京大学大学総合教育研究センター特任研究員、同大学政策ビジョン研究センターシニア研究員などを経て現職。著作：『大学のIR：意思決定支援のための情報収集と分析』(共著)慶応義塾大学出版、2016年など。また文部科学省大学改革推進委託事業『大学におけるIR(インスティテューショナル・リサーチ)の現状と在り方に関する調査研究』(東京大学、2014年)、日本私立大学連盟『これまでのIRこれからのIR』(2018年)などの執筆を分担。



金子 元久 筑波大学 特命教授、東京大学 名誉教授

Ph.D.(シカゴ大学、1985年)。アジア経済研究所所員、ニューヨーク州立大学アルバニー校客員助教授、世界銀行コンサルタント、東京大学教授、同大学大学総合教育研究センター長、大学院教育学研究科長・教育学部長、大学経営・政策センター長、国立大学財務経営センター研究部長、中央教育審議会委員、日本学術会議会員、日本高等教育学会長などを歴任。著書：『大学の教育—何を教え、学ぶか』筑摩書房(2007年)、『大学教育の再構築—学生を成長させる大学へ』玉川大学出版部(2013年)等。論文：「IR—期待、幻想、可能性」『大学評価とIR』(2011年)、「IRを育てる」『模索するIR』(2016年)等。

申込期限・方法

- 申込期限 2023年11月8日(水)
- 申込方法 下記のURLまたはQRコードから申込が可能です。

※対面でのご参加:

先着50名(予定)。既定数に達しましたら申込を終了いたします。キャンパスへの入構方法など詳細はご登録いただいたメールアドレスへお送りします。

※オンラインでのご参加:

接続先情報をご登録いただいたメールアドレス宛へお送りします。

<https://forms.gle/ntvHKNKL8C2EgJds5>



アクセス(対面)

白山キャンパス(東京都文京区)

<https://www.toyo.ac.jp/about/introducing/access/#anc01>

・都営地下鉄三田線 白山駅
「正門・南門」A3出口より徒歩5分
「西門」A1出口より徒歩5分

・東京メトロ南北線 本駒込駅
「正門」1番出口より徒歩5分

・都営地下鉄三田線 千石駅
「正門・西門」A1出口より徒歩7分

当日接続方法(オンライン)

本学公式Webサイト内のシンポジウム特設ページよりご視聴いただけます。接続先情報は申込時にご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。